

慈恩寺中だより

学校教育目標 「自主・自立をめざす生徒」

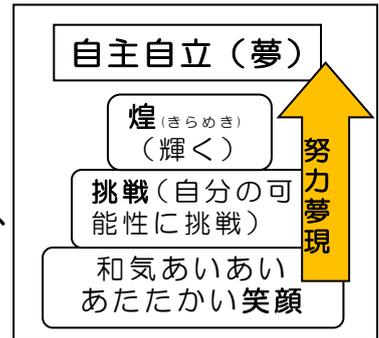
(自ら学び、正しく判断し、実行する生徒の育成)

- 差別を許さない生徒 …… 思いやりと正義感を持ち、実践できる生徒
- 進んで学習する生徒 …… 自ら課題を見つけ、自ら考え、真剣に学ぶ生徒
- 心身ともに健康な生徒 …… 心と体を鍛え、たくましく成長する生徒

笑顔が最高の教育

校長 高波 國夫

あったか〜い笑顔あふれる慈恩寺中！最高です。「温かい笑顔にあふれ、和気あいあいとした教室で、お互い笑顔で会話する子どもたち、朝から和気あいあいと笑顔で話す先生方、慈恩寺中、とてもいいですよ。」先日、ある方と話していて、私は慈恩寺中の印象をそう答えました。するとその方は「それはよかったね。笑顔が最高の教育だからね。」と教えてくれました。お互いに認め合っているからこそ笑顔で話せ、居心地がいいから笑顔になれる。笑顔でいると勇気も湧いてくる。そして、笑顔が広がって、また笑顔が増える。そして新たな勇気も湧いてくる。笑顔は好循環だなと思いました。



これから5月に入ります。スクールダッシュボードが始まり、2・3年中間テスト、部活動も本格始動、2年管弦楽教室、3年修学旅行、1年いわつき自動車学校での交通安全教室、生徒総会や体育祭に向けた取組、部活の大会も始まります。その中でみなさんは、いろいろな選択に迫られることもあるでしょう。そんな時、次のような考え方はどうでしょう。

自分を笑顔にするプラスの考え方7

- 1 迷ったら「消極的」より「積極的」な行動を優先する。(自分に正直に)
- 2 「誰が」言ったかより「何を」言ったかを大切にする。(選ぶほう最適解)
- 3 「できない理由」を探すより「できる方法」を考える。(やればできる)
- 4 「部分最適」より「全体最適」を優先する。(自分の利益より貢献を重視へ)
- 5 「〇〇しかない」と考えるより「〇〇もある」と考える。(プラス思考で)
- 6 あんなにした「のに」と愚痴るより「おかげさま」で感謝する。(感謝)
- 7 「人の悪口」を言うより「人のいい所」を誉める。(認め合うとお互い嬉しい)

もし、それぞれの取組中に、使えるものがありましたら、使ってみてください。

また、先日、面白い記事を読みました。「先生の授業とAIドリル」との関係について。本校でも、スタディサプリを活用して授業や復習を行っていますが、それぞれ相性があります。そこで、自分なりに考えてみました。(個人差はあり)

- ・学校は、子どもを伸ばすところ(9教科等の授業で、可能性を広げる)
- ・子どもは、自分の好きなこと、得意が見つかる(将来の自分の武器をつくる)
- ・学習過程には、**理解→定着→活用**がある。(定着：忘れないために必要)
- ・先生の授業とAIドリルには、それぞれ相性がある。(右表)

自分の夢の実現に向け「努力夢現」！理解・定着・活用の過程を大切に、授業とスタサプを有効活用しましょう。

資質能力	知識・技能		思考力・判断力・表現力
学習の過程	理解	定着	活用
必要な学習体験	たとえば話 質疑応答	繰り返し 解く	問いに対する 試行錯誤
教員の 得意度	◎	×	◎
機械の 得意度	×	◎	△

参考『「繰り返し解く」学習にAI活用を一誰一人取り残さない授業実現のために』(内外教育 R6.4.23) 一部引用